

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ劇立ててく2

国立市立国立第七小学校

平成26年5月26日 NO.17 (117)



モンタ博士「今日（きょう）は、季節（きせつ）と植物（しょくぶつ）のお話（はなし）をします。日本には、どんな季節があったかな。」

4年生 「春（はる）・夏（なつ）・秋（あき）・冬（ふゆ）です。」

モンタ博士「それでは、今（いま）の季節はどれだろうね。」

4年生 「秋・冬ではないな。でも、春はすぎたみたいだし、夏はまだみたいだ。」

4年生 「ぼく知（し）っているよ。今の季節は『初夏（しょか）』というんだ。」

モンタ博士「そうだね。それでは、秋と冬、冬と春の間（あいだ）はなんだろう。」

4年生 「秋と冬の間は、晩秋（ばんしゅう）といって、こがらしがふいて葉っぱが散（ち）って、寒（さむ）い季節さ。」

4年生 「それから、冬と春の間は、早春（そうしゅん）といって、オオイヌノフグリなどが咲（さ）く季節なんだ。」

モンタ博士「よく知ってるね。では、今の季節、どんなお花が咲くかな。」

4年生 「ヤマボウシ、エゴノキ、ノイバラ、スイカズラ、ドクダミなどです。」

モンタ博士「その通（とお）りだね。今の季節には、山や野に白い花が多いんだよ。」

4年生 「それは、どうしてなんですか。」

モンタ博士「それをわかりやすくするために、こんなものを作（つく）ったよ。」

4年生 「なんだろう？なんだろう？」

モンタ博士「春のはじめは、まだ山の木もめぶかないので、すこし茶色（ちゃいろ）っぽいから、黄色（きいろ）の花がよくめだつね。」

4年生 「ふーん。なるほど。」

モンタ博士「春から夏にかけては、黄緑（きみどり）色から、こい緑色になるので、白い花がめだつのさ。」

4年生 「ふーん。なるほど。」

モンタ博士「それから、緑がさらにこくなる秋にかけては、赤やむらさき色の花が多くなるのさ。」

4年生 「全部（ぜんぶ）がそういう色になってしまうのですか。」

モンタ博士「そうではないよ。ただ、今の季節は白い花が多くなる傾向（けいこう）があるということなんだ。」

4年生 「それは、つまり・・・虫との関係（かんけい）があるということですね。」

モンタ博士「その通りさ。生き物は、ただ一つであるのではなくて、いろいろな関係からあるということなんだ。」

4年生 「はい。よくわかりました。ところで、モンタ博士。『春の花の検定（けんてい）』は終（お）わってしまいましたが、『初夏の花の検定』も始（はじ）まるのですか。」

モンタ博士「もちろんだよ。そろそろ始めるよ。くわしくは明日の『国立てくてく』をみてください。」